

平成 22 年度 事業報告書

1. 入館者数

大人 15,440 人、老人・子供 19,790 人、三条国保 371 人、障害者 8,351 人
合計 43,952 人

(対前年度比、約 2,533 人の減少。不景気の為、近隣の施設との競合、分水手まりの湯改築の影響が大きい。また、12 月から空調工事の為 1 か月休館の影響が大きかった。)

2. 貸し部屋使用回数

小部屋 (3 室) 196 回
広 間 (2 室) 84 回

(対前年度比、小部屋 42 回減少。不景気で小宴会・外食が減少)

3. 自主事業の状況

食堂売上・約 770 万円、売店売上・約 190 万円、宴会売上・約 1,300 万円
(食堂部門で 200 万円、宴会部門で 340 万円の減少、売店部門で 70 万円の減少、不景気、近隣の同様施設との競争激化、また、飲酒等への取締り強化の影響が大。夕方からの入館者が減少。)

春・桜と春の地魚を楽しむ会を開催 (H22.4.1) 参加者 40 名
夏・米沢牛と真鯛を食べ猛暑に勝つ会を開催 (H22.10.15) 参加者 40 名

4. 清掃並びに機械設備の維持管理状況

(利用者に快適に過ごしていただく為に、清掃は月 2 回の休館日に清掃業者に委託し実施した。日々の清掃はマニュアルに従い実施した。脱衣場のカーペットを張替え)

5. 事故への対応

救急車への 119 番通報

3 件 (転倒 1 件、目まい・のぼせ 2 件)

浴槽内の不始末

0 件 (閉館にし、配管消毒を実施する)

自己総括

22 年度は旧清閑荘部門がオープンして 3 年が経過しましたが、温泉施設を取り巻く環境は近隣施設との競合が激しく、利用者のニーズの多様化もあり、減少状況です。ただ、障がい者の利用は年々増加しております。今後は尚一層利用者の目線に立った施設運営を心がけたいと思います。